

幹事会 H30 年度活動報告

【目的】北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要とされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。

【主な活動】

幹事会

- 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討を行っている。その中で、訪問入浴サービスの必要性や、主に精神障がいの方の服薬管理の課題等が話題としてあがっており、各部会と連携しながら検討を進めたい。
- 第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の進捗管理を行いながら、地域の体制整備を進め、また検証等を行っている。今年度は主に障害者差別解消支援地域協議会の設置、医療的ケア児等支援のための協議の場の設置等について検討した。

市町村 課題検討 WG

- ケアプラン研究会にて、地域全体の質を高める事を目的に、行政の立場から見た適切なサービス等利用計画やモニタリングの視点を学習。
- 圏域内の相談支援専門員との意見交換会を2回実施。1回目を8/30に実施。上記のケアプラン研究会を相談支援専門員とも一緒に行った。2回目は2/27に開催し、相談支援専門員が行っているGSV（グループスーパービジョン）を体験的に学び、また情報交換を行う予定。
- 障害者差別解消支援地域協議会の設置にむけて、権利擁護部会とキャッチボールしながら、この地域の実情にあった協議会の設置にむけ検討を行い、幹事会へ報告を行ってきた。

地域生活 支援拠点等 事業検討会

- 今年度は、市町村課題検討WGの中に検討時間を設置し、6市町村の係長に加え実務担当者も検討に加わっている。
- 地域あんしんコーディネーターの活動や空床2床の利用実績について報告を受け、地域課題の検討に繋げている。
- 地域生活支援拠点等の機能を担う事業所の認定取扱い要領の作成を行い、各事業所へ通知。現在8事業所を認定。
- 支援者の専門的な支援力向上のための研修会を今年度4回実施。（テーマ：医ケア、精神障がい、行動障がい、距離感）

就労アセス メント体制 整備PJ

- H26年よりPJを設置し、就労アセスメントについて、その在り方の検討、実施状況の共有、課題検討等を行ってきた。現在、就労アセスメントが圏域内で定着しており、PJで集まって話し合う必要性も低くなった為、PJを閉じる事となった。

【成果・来年度に向けて】

- ・北信圏域障害者差別解消支援地域協議会の設置が今年度承認され、来年度4月より運用となる。
- ・第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の進捗管理を行いながら、各部会と連携して協議検討を行い、目標達成に向け取り組んでいく。
- ・幹事会をエンジンとして、自立支援協議会が今後も円滑かつ効果的に機能するよう取り組んでいく。